

No.48
熊
広報

平成25年12月15日
熊地区広報発行委員会
発行責任者
地区長 近藤 輝和
公民館長 高橋 博良

第18回熊地区
文化展を開催

地区長 近藤 輝和

十一月九日(土)、十日(日)の両日第十八回熊地区文化展が、一日目は穏やかな秋の日に、二日目は秋雨の降る中で開催されました。

絵画、写真、書、生け花、手芸、陶芸、竹細工、盆栽、絵手紙、子ども会の作品を心ゆくまで鑑賞されたことと思います。

熊婦人会役員は多忙な中で、趣向をこらし干支(えと)文字飾りを、デイサービスこだまの方は、心のこもった手芸作品



熱心に作品を鑑賞する大勢の来館者



例年好評の野菜直販(営農組合)



真剣な眼差し「上手に出来たかな？」
今年の新企画「竹鉄砲」

を出展されました。かきつばた会の呈茶・子どもたちが「おもてなし」の心で来館者にお茶をふるまう姿に、ほっとしたぬくもりを感じました。熊郷土史研究会の「竹中喜太郎さんを偲んで」の企画も好評でした。

屋外テントでは、熊婦人会がみたらし団子の販売を、刈谷市赤十字奉仕団と熊なでしこ会は共同で、参加者の防災意識高揚のために、炊き出しの豚汁サービスをしてくださいました。「はそり」で作られた豚汁はおいしかったですね。

熊営農組合による野菜の直販、趣味の会による手芸品の販売にも多くの人が集まりました。ブルーシート横に、今年初めて竹鉄砲のブースが設けられました。子どもたち以上に、昔をなつかしむおじいちゃんたちでいっぱいでした。菊花のかぐわしい香りと、来館された皆さんの笑顔が今も鮮やかに残っています。

文化展を終えて

婦人会 広報担当 三浦 恵美子

今年の婦人会は、作品展では来年の干支(えと)に備えて、各メンバーが一筆入魂で製作した「手近な素材に文字を書き込んで作る『午・馬』

の文字の干支飾り」をグループ出品しました。

「毛筆を手にするのは中学校以来」というメンバー

もいましたが、練習を重ねるうちに味のある字が書けるようになり、思いおもしろい文字やデザインで、個性ある作品がそろいました。中には拳大のゴツゴツした石の角を筆代わりにして書いた作品もありました。



「午」の干支文字飾り



“おだんご”に“笑顔”を添えて
「はい、どうぞ」

また、毎年恒例の「婦人部のおだんご屋さん」では、あいにくのお天気の時もありませんでしたが、二日間とも大盛況！「おいしいね。」「これが楽しみなんだよ。」等々、絶賛大好評で笑ってました。顔のうちに二千本もの、おだんごを完売しました。ありがとうございました。

「竹鉄砲で遊び」

三浦 洋治

個人的なお願いを地区長始め、関係者の方々に、ご賛同を頂き実現できましたことを感謝いたします。当初の目的は子供さんにおじいちゃん達が子供の頃に手作りして、遊んだ竹鉄砲を作って、紙弾を飛ばして遊んでもらうことでした。ところが、その昔体験されたおじいちゃん達が夢中になってしまい、腕前の競い合いが始まってしまいました。また女性の方にも興味をもって頂き、昔の御嬢さん達と一緒に楽しんでくれました。

興味のある子供さんが積極的に入ってきてくれて、次第に盛り上がりつつ来ました。最年少は四歳の男の子でした。始めに教えてあげるとあとは、「自分でやる」と言ってがんばってやってくれました。一年生の女の子も夢中になって何時間も遊んでくれました。また初めはうまくいかなかった子も、次第にうまく発射できるようになってプシュッがスッパン！と発射できるようになって笑みをくれました。等々何度も子供達に感激しました。

本当は、子供達に自分が作ったもので遊んでもらいたかったのですが希望者がいなくて実現できませんでした。このことが少し残念に思いました。

私が自分で何本か作って試し打ちをしたのですが、今一つうまく発射できないことがありました。この原因が使用した竹の種類が違っていたことに気が付きました。確かな竹の選定をしていけば、子供達も、もっとうまく鉄砲遊びができたと思います。反省しました。

文化展 作品例



絵画・水墨画↑

書→

写真↓



↓「熊さん」一閑張り

↑「かきつばた会」
生け花子ども会 →
習字と図画

子ども会

文化展のお抹茶

六年 杉本 麻水

わたしは文化展で、お抹茶運びのお手伝いをしました。二日目は雨が降っていたので、お客さんがあまり来なくて心配していましたが、しばらくたつてお客さんがたくさん来ていそがしかったです。

男子だって呈茶で
「お・も・て・な・し」!!!

茶のたて方を教えてもらいながら自分たててみました。「上手にたてているよ。この泡がいいんだよ。」と言ってくれたので、うれしかったです。

今度は、お客さんになって来たいです。

文化展のお手伝い

六年 白井 鳴海

十一月九日、十日に文化展がありました。そこで毎年行われているお抹茶運びのお手伝いをしました。

今までは女の子しか手伝った事がないらしく、男の子のお運びの手伝いに、お抹茶を出してくれるかきつばたの方やお客さんもおどろいていました。でも、「男の子もいいね。」と言われてほっとしたし、うれしい気持ちになりました。

お作法を守りお客さんにお運びするのはきんちようしたけど、将来働くときの勉強になりました。

文化展開催のお礼

公民館 館長 高橋 博良

この紙面で記載のとおり、数多くの力作を一堂にそろえて開催した「第十八回熊地区文化展」には、作品数百四十点の展示と、呈茶と豚汁のサービスのコーナーに来場者四百五十人を超える多くの皆さんにお越しいただいたことを深くお礼申し上げます。

今年の特徴は、展示品に刈谷城「築城四百八十年」の関わりで刈谷城址と周辺古地図の展示がありました。また、以前からお願ひしてきた、熊野町の成瀬さんの菊花展示と販売は今年かぎりとなり、それらを楽しみにしていたファンから「さみしい残念」の声しきりでしました。



例年、会場に彩りを添えた菊花も今年限り？

たくさんさんの人足運んでいただいた文化展でしたが、二十代、三十代といった若い年代の参加者が少なかつたと思います。展示品のなかに有った熊地区の古道地図や、郷土の歴史に触れることによつて自らの郷土愛を育み、趣味や教養の幅を広げる絶好の機会として参加を願いたいものです。

今回ご協力いただいた各方面の皆様に変更してお礼申し上げ、熊地区の諸活動に引きつづきご支援をお願い申し上げます。

熊地区の防災について(その一)

熊地区自主防災会

会長 近藤 輝和

マスコミで言われています巨大地震に備えて、熊地区自主防災会も一歩ずつ歩みを始めています。「備えあれば憂いなし」をモットーに、今回は避難場所と防災リーダーについてお知らせします。

一・避難場所について

熊地区の指定避難場所は、刈谷北高校、刈谷東中学校、亀城小学校の三か所です。大火災が発生したり、液状化現象が起きたりしますと、すぐには指定避難場所に行くことはできません。そのために近くにいったん家族や近所の人たちが集合できる一時避難場所を決めておく必要があります。一時避難場所は、駐車場、広場、公園になるかと思ひます。

企業の駐車場、体育館、グラウンドの使用をお願いに、近々何う予定です。どこを一時避難場所にするか、各家庭で話し合う時間をとっていただけるとありがたいです。

二・防災リーダーについて

大災害が発生すると、熊地区の住民は三か所の指定避難場所に避難します。各避難所には、他の地区からも大勢の避難者が集まってきます。他の地区の住民と譲り合い、助けあつて避難所生活していくこととなります。

そういう事態のリーダー、熊野町は三浦市太郎氏、八幡町は柘植敏彦氏、宝町は鈴木富佐夫氏の3名です。3名とも市の防災リーダー養成講座の修了者です。困ったときほど助け合い、わかち合える熊地区でありたい。皆さんのご協力をお願いします。

老社会だより

楽しかった親睦旅行

林 吉良

十一月十八日～十九日老社会の親睦バス旅行で、野沢温泉へ往復八百キロの旅に出掛けました。

快晴の朝七時二十分宝町を出発。

飛騨・南アルプス山脈の紅葉と雪景色を眺めつつ、途中恵那峡SAで休憩して、

上田市で、きのこ料理の昼食。北

向観音で有名な常楽寺に参拝、

全員で記念撮影をした後、高橋

まゆみ人形館へ行き、ちりめん

作った優しい顔の爺・婆を見学後、

野沢温泉ホテルに入り



宴会は創作盆踊り「熊の音頭」、カラオケを全員参加で踊って、唄って大いに盛り上がり

ました。二日目は小布施町の岩松院を拝観、葛飾北斎の鳳凰図の天井、百六十年経つても素晴らしい輝きに感銘しました。栗ご飯の昼食後、北斎館など自由散策して帰途に。妙高高原と晩秋の紅葉、雪景色を満喫しながら十八時前帰宅。

二日間、上田で楽しい旅でした。

出来た！創作盆踊り「熊の音頭」

老社会 会長 村井 修治

熊独自の盆踊りが出来たらいいなあーと思つたのは、熊地区夏祭りの盆踊りに参加、そして刈谷市民盆踊り大会に参加したことがきっかけであります。

早速、作詞・作曲・唄・振り付けの出来る方を探していたところ、専門知識を持った方がおられ、お願いをしたところ賛同していただけました。意外に早く歌詞ができ、曲ができました。題名は「熊の音頭」という。そして、CDに曲・唄が入り、振り付けができ、踊りの練習を始めていると聞き、進みの速さに驚きました。素晴らしい知識・力量を持った方々が老社会におられるものと敬服しました。

そこで、この盛り上がった今、地区の方々に「熊の音頭」を知っていただく

と思います、十一月二十五日に発表会を開催しました。

発表会は大盛況で、皆さん大いに楽しんでくださいました。

今後は、地区諸団体の協力を得て多くの方に踊っていただく活動をして行きたいと考えております。



最後に創作盆踊り作りに携わった方々にお礼申し上げます。

交通安全「川柳」優秀賞受賞

- ▽作詞作曲・浅野省二様
- ▽唄・ギターで唄う会の皆様
- ▽振り付け・三浦 美枝子様
- ▽踊り・民踊愛好会の皆様



刈谷警察署募集の高齢者が考える「交通安全川柳」に老社会として応募した代表作

◆止まるのは

そりやあ

今でしょ

黄信号

が優秀賞に選ばれました。

なでしこ会れんらくちょう

なでしこ会 会長 三浦 昌子

二日間の熊地区文化展では、今年は刈谷市赤十字奉仕団の方々による豚汁の炊き出しを、なでしこ会もお手伝いして大盛況の内に終わり、皆さんの笑顔に心温まる思いがしました。

十一月二十二日には岡本ひろ様をお招きし、「お手玉で遊ぼう会」を開きました。いつでも、どこでも、一人でも多人数でも楽しめる遊びを教えて頂きました。

懐かしい童謡を歌いながら隣の人にお手玉を渡す。これが結構難しいのです。次第に必死になり、そのうちたくさん「笑い」に包まれて行きました。とても楽しく絆を深めることができた研修会となりました。

又お手玉の効能はストレス解消、不眠解消等だそうです。このような会を通して地区の皆さんとの和が広がると良いと思います。

熊地区の歴史あれこれ

熊郷土史研究会

会長 竹中 兼利

○報恩講(ほんこうさん)

今は十月三十一日から十一月二日にかけて行われる安養寺の報恩講は、かつて毎年一月八日から三日間行われ、学校の早引けが認められた村の大きな行事でした。もともとは、浄土真宗の開祖親鸞聖人の御恩に報いるために、信者が集まって徳を偲ぶのが目的でした。報恩講のお勤めに備えて子供たちはお経の練習をしたものです。夜七時からお庫裡でお経を習うのですが、練習のあとで幻灯を見たり、お汁粉をいただいたりするのを楽しみました。

安養寺の門前の参道にはリヤカーを屋台にした五～六軒の出店が並んで、一文菓子やおもちやを売っていました。少ないお小遣いですから安い店を探してはおもちやや飴玉を買うのが楽しかったのです。

親鸞聖人は大根が好物であったと言うことで、「おとうだいこん」という大根の煮物が作られて「おひじ」にふるまわれます。子供たちがリヤカーを引いて大根を集めて回ったものです。

安養寺の報恩講の最終日には、御伝鈔という親鸞聖人の一生を物語る御絵伝の絵解きがあります。すべてのお勤めが終わると、北余間に安置されている権現さん(阿弥陀如来像)が御開扉され、檀徒総代の人が権現さんの安養寺に安置された由来を読み上げます。昔は熊村といったこの熊地区の歴史が語られますので、この日に参詣されることをお勧めします。

子ども会

秋祭りに参加して

四年 深谷 美ノ里

わたしは、二回目の参加です。一番楽しかったのは、大きなうちわが楽しかったです。かけ声で、みこしをもっている人におうえんしているみたいで元気が出るからです。



大うちわで、ワッショイ

町内を大きな声で、「ワッショイ！ワッショイ！」と声をかけて、みんな歩きまわりました。みんな青いはつぴを着て、豆しぼりを付けて、元気いっぱいかけ声をかけ合い、すごく楽しかったです。

子ども会のすもう大会に行ったよ

二年 きょう かいせい



僕たち熊Bチームは5位だったけど 熊Aチームは準優勝

ぼくは子ども会のすもう大会に出ました。二人せんでは、あい手は体の大きい子だったので、一回目でまけてしまいました。とてもくやしかったです。だん体せんでは、だいたい三回くらいかきました。でも、ぼくのチームは五

いでした。アイシンのすもうのお兄さんがあい手をしてくれました。けこうつよかったです。楽しかったです。来年も出て、こんどそかちたいです。

熊野神社だより

氏子総代会 会長 伊藤 誠

まだ暖かかった秋のお祭りが終わり、一段と寒い季節になりました。

お祭りに向け大勢の方々にご協力をいただきました。老壮会の皆様には除草の作業、地域の皆様には境内清掃と新設金属ボールでの「のぼり」の揚げ降ろし、パトロール隊の皆様には子供神輿の警護と餅投げの安全警護、そして消防団の皆様には餅投げの安全警護をしていただきました。だんご売り、餅投げと大盛況のうちに終えることができました。



元氣よく子ども達が餅投げ

一番うれしかったことは、けが人が出なかったことです。大勢の皆様に見守られていることを実感しています。

また年末年始を迎えるにあたって左記の神事を予定しています。

◆新嘗祭・山の神社祭 十二月八日(日)

◆しめ縄づくり 十二月十四日(土)

◆門松づくり 十二月二十七日(金)

◆大祓儀式 十二月三十一日(火)

◆厄除け祈願・歳旦祭 一月一日(水)

総代全員で総力を挙げ準備しています。初詣に「おもてなし」を用意して、多くの皆様のご参拝をお待ちしています。

熊地区の防犯について

熊安全パトロール隊 隊長 佐藤 正道

最近、刈谷市に於いて「侵入盗、自動車盗」が多発しています。あなたの住宅、自動車は大丈夫ですか。

安全パトロール隊は、地域住民が安全で安心して暮らせるように、地域のパトロールを、昼と夜、学童の下校時等に、定期的に実施して居りますが、まだまだ十分でなく安心出来ません。

地域のみんなで「目配り、声かけ、110番」を、合言葉にして、熊地区民が、安全、安心で暮らせる様に、頑張ります。ご協力お願いします。

最近、学童の交通事故が新聞等で報道されていますが、熊地区も道路が狭く通学路に、歩行帯が十分でなく危険です。事故のない様に皆様で協力しましょう。

熊安全パトロール隊員を募集していますので、ご入隊希望の方は、左記の隊員までご連絡下さい。よろしく。

隊員には制服(ウインドブレーカー、ベスト、帽子)を貸与・支給致します。

佐藤 正道 〆

軒山 勝行 〆

大霜 豊勝 〆

高柳 稔 〆

消防団第四分団からのお知らせ

分団長 奥村 直哉

日頃より消防団活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

火災の発生しやすい季節になりましたので火の元には十分注意し、火の点検をお願いいたします。

第四分団では十二月二十九日、三十日の二日間、夜間特別警戒のため地区内を巡回させていただきますのでご協力よろしくをお願いします。

先日、消防団百二十年・自治体消防六十五周年記念大会が東京ドームで行われ、参加してきました。その大会では東日本大震災で殉職された消防団員・職員を思い、またそのつらい経験を教訓とし今後起こるであろう災害に最善の体制で対処をするというコンセプトのもと、天皇・皇后陛下もご臨席賜り、安倍総理や伊吹議長等も来られ、またAKB 48も花をそえてもらい、大変ありがたい大会となりました。引き続き熊地区の防火、防災に努めてまいります。

最後に、まだまだ団員を募集しております。地元のお役に立ちたいと考えている方は是非とも一緒に活動しましょう。

編集後記

文化展で好評を博した熊郷土史研究会の作品展・古地図等々いかがでしたか？刈谷城及びその城下町の大きな地図をご覧になりましたか？「温故知新」、「熊地区の未来への夢を紡ぐ上で、その歴史を知ること大切なのは？」市民館にはその古い城下町の状況を示す



道標があることをご存知ですか？十月末にその道標を説明した真新しい立派な「高札」を熊郷土史研究会の方々が市民館入口の道標の傍らに立てました。一度、来館の際にご覧ください。